

施策名：多様で厚みのある産業集積の深化

事業名	担当課・室名	ページ
グリーン・コンビナートおおいた創出事業	工業振興課	1 / 3
おおいたLSIクラスター構想推進事業	工業振興課	1 / 3
自動車関連産業企業力向上事業	工業振興課	1 / 3
食品産業収益力向上支援事業	工業振興課	2 / 3
東九州メディカルバレー構想拠点連携促進事業	新産業振興室	2 / 3
医療関連機器産業振興事業	新産業振興室	2 / 3
エネルギー関連産業成長促進事業	新産業振興室	3 / 3

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：Ⅱ-2-(5)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価			
1	グリーン・コンビナートおおいた創出事業 (R5 ~ R7) 工業振興課 「グリーン・コンビナートおおいた」実現に向け、次世代エネルギー等の拠点化に向けた調査を実施するとともに、企業間連携プロジェクトを推進する。 予算額 (うち翌年度繰越額) 36,471 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 35,824 (0)	①グリーンコンビナートおおいた推進構想の策定 (R6, 1) ・推進会議の開催 (3回) 会員：大分県知事 (会長)、コンビナート企業協議会会員企業11社、大分市長、大分大学 オブザーバー：・九州経済産業局 ・九州地方整備局 ・産業技術総合研究所 ②国内先進地視察等 ・苫小牧CCS実証試験センター視察 ・GX推進セミナーの開催	① 32,890 ③	連携案件、産産交流マッチング、GX取組件数 [件]	目標値		6	6	A			
			② 2,934 ④		実績値		6	—				
			主な活動指標と達成率				[件]	達成率		100.0%	—	
			企業間連携に向けた個別協議回数	目標値	15	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 大分コンビナートのカーボンニュートラルと持続的成長の両立は、県政発展を大きく左右する最重要課題の一つであることから、次世代エネルギー水素等の供給・利活用やカーボンサイクルなどを軸とした、2030年、2050年を見据えて向かうべき方向性を、関係者共有の「構想」として取りまとめた。令和6年度には、実証事業等の助成やGX投資に対する補助制度を設けたところであり、構想に盛り込まれている、①土地の確保②県内や九州地域のカーボンニュートラルなどへの貢献③県外コンビナート地域等との連携④水素保安規制等への対応⑤人材の確保・育成といった主要課題に対応しながら、引き続き、産学官連携で構想の具現化を図っていく。						
			[回]	実績値	16							
達成率		106.7%										
部会・分科会開催回数	目標値	10										
[回]	実績値	13										
[回]	達成率		130.0%									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価			
2	おおいたLSIクラスター構想推進事業 (H18 ~) 工業振興課 半導体産業の競争力強化のため、人材育成や技術力向上、海外企業との交流などの取組を支援する。 予算額 (うち翌年度繰越額) 28,991 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 28,991 (0)	①イノベーション事業(技術力向上支援) ・研究開発に対する助成(4件) ・半導体関連セミナーの開催 ・企業と学生との共同研究に対する助成(1件) ②マーケティング事業(販路開拓支援) ・台湾企業との商談会等の開催(2回) ・大型展示会への出展(2回) ③ネットワーク事業(経営者視点での支援) ・トップセミナーの開催(3回) ・いわて半導体関連産業集積促進協議会との連携協定の締結(2月)	① 14,818 ③ 2,193	研究開発による事業化件数 [件]	目標値	7	7	7	A			
			② 10,569 ④		実績値	16	18	—				
			主な活動指標と達成率				[件]	達成率	228.6%	257.1%	—	
			展示商談会等件数	目標値	11	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 研究開発での事業化件数18件(目標7件)、新規取引件数54件(目標22件)の実績を上げ、目標を達成した。また、県内企業の技術者による大学等での半導体講座などの実施、産業構造が類似する岩手県との半導体振興に関する連携協定の締結など、新たな取組にも尽力した。引き続き、大分県LSIクラスター形成推進会議を核に、研究開発への助成や海外企業とのマッチング、九州半導体人材育成等コンソーシアムとの連携などに取り組み、新生シリコンアイランド九州の一翼を担っていく。						
			[件]	実績値	16							
達成率		145.5%										
研究開発件数	目標値	4										
[件]	実績値	4										
[件]	達成率		100.0%									

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価			
3	自動車関連産業企業力向上事業 (H18 ~) 工業振興課 自動車関連企業の競争力強化のため、人材育成や販路開拓、技術力向上、電動化対応などの取組を支援する。 予算額 (うち翌年度繰越額) 41,047 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 40,681 (0)	①自動車関連産業新規参入促進事業 大分県産業創造機構に設置した「自動車関連産業支援プロジェクトチーム」による新規参入や取引拡大の支援 ②大分県自動車関連企業会を通じた支援 ・金型技術者育成講座 (13社15名、H22からの累計184社217名) ・生産現場におけるチームリーダーの育成 (6社10名) ・次世代自動車産業研究会の開催 (1回) ・電動化セミナー (3回、38社117名) ・自動車関連産業エキスパート派遣支援事業費補助金 (1社) ・次世代自動車関連産業参入補助金 (1社) ・新分野取組多角化促進事業費補助金 (1社) ・九州自動車部品現調化促進商談会等出展助成 (6社) ・九州自動車関連技術展示商談会 (5社)	① 19,324 ③	自動車関連で継続した取引のある企業会員数 [社]	目標値	88	90	105	A			
			② 18,223 ④		実績値	94	100	—				
			主な活動指標と達成率				[社]	達成率	106.8%	111.1%	—	
			展示商談会への参加企業数	目標値	30	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 100年に一度と言われる変革期の中、電動化セミナーやチームリーダー育成講座の開催、次世代自動車関連産業参入補助金による新規展開の支援など、時勢に即し、かつ、企業ニーズに合った取組を実施した。 令和6年度は、完成車メーカー等に製品企画を逆提案できるような、事業開発をも担うイノベーション人材の育成を進めるなど、電動化対応を強化する。						
			[社]	実績値	11							
達成率		36.7%										
金型技術者育成講座受講者数(修了者数)	目標値	15										
[人]	実績値	15										
[人]	達成率		100.0%									

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：Ⅱ-2-(5)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
4	食品産業収益力向上支援事業 (R5 ~ R7) 工業振興課 食品製造業者の収益力強化のため、新商品の開発や人材育成、大規模展示商談会への出展などを支援する。	①販路開拓 ・HACCPワークショップ(6社6名)、HARPCセミナーの開催(8社9名) ・大規模展示商談会への出展支援(延べ26社) ・専用ホームページ「食のたすき」の運営(特集記事：12社取材) ②人材育成 ・商品開発人材育成研修の実施(16社16名) ③マッチング ・コーディネーターによるビジネスマッチング(9件) ④商品開発 ・食品オープンラボの運営	① 14,454 ③ 3,905 ② 4,328 ④ 1,369	マッチング成立件数 目標値 実績値 達成率	目標値 実績値 達成率		20	20	A
			主な活動指標と達成率 コーディネーター企業訪問数 [延べ：社] 商品開発人材育成研修参加者数 [人]		目標値 100 実績値 93 達成率 93.0% 目標値 15 実績値 16 達成率 106.7%	達成率 115.0%	—		
	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 新たに実施した商品開発人材育成研修では、目標を超える参加者があり、開発アイデアの中から新商品が誕生する例など、目に見える形での成果も得られた。 また、HARPCセミナーを新たに開催し、アメリカ向け輸出を実施・検討している県内企業に参加いただいたところ、今後は、販路開拓を強化すべく、越境ECの活用を促進していく。								
	予算額 (うち翌年度繰越額) 936,890 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 26,031 (3,128)								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
5	東九州メディカルバレー構想拠点連携促進事業 (R3 ~ R5) 新産業振興室 県内の医療関連産業の集積促進と地域経済の活性化を図るため、県内企業による医療関連機器開発や海外展開に対し支援する。	①大分大学と連携した海外人材育成・医療機器開発拠点の深化 ・海外の医療従事者に向けた研修・セミナーの実施 ・臨床現場でのニーズ把握や、機器の試作開発 ②医療関連機器の海外販路拡大 ASEAN諸国への働きかけによる、産学官で連携した日本式医療システムの海外普及	① 6,000 ③ ② 1,211 ④	医療関連機器の市場化件数 目標値 実績値 達成率	目標値 実績値 達成率	3	3	4	A
			主な活動指標と達成率 臨床医工学センターを介した講師の派遣回数 [回] 海外の医療関係者等への日本式医療システムのPR回数 [回]		目標値 2 実績値 3 達成率 150.0% 目標値 2 実績値 3 達成率 150.0%	達成率 133.3%	133.3%		
	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 医療関連機器の開発については、大分大学医学部附属臨床医工学センターと連携し、医療従事者等のニーズを捉えた開発を支援したことで、市場化件数は目標値を上回った。また、海外へのPR活動についても日本式医療システム等を積極的にPRした。 大分大学との連携をはじめ、これまでに築いたネットワークを生かしながら、医療関連機器開発等を更に推進していくため、令和6年度から「東九州メディカルバレー構想推進事業」を実施する。								
	予算額 (うち翌年度繰越額) 7,278 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 7,211 (0)								

No.	事業名・事業概要・事業費	主な事業内容	主な事業内容ごとの決算額	成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
6	医療関連機器産業振興事業 (R5 ~ R7) 新産業振興室 東九州メディカルバレー構想に基づく医療関連産業の拠点づくりのため設立した「大分県医療ロボット・機器産業協議会」を通じ、新規参入から優れた臨床ニーズの発掘、機器開発、販路開拓・海外展開支援等を一貫して行い、会員企業のレベルに応じたきめ細かい支援を実施する。	①大分県医療ロボット・機器産業協議会負担金 (1) 新規参入支援 ・新規参入促進セミナー等開催(4回、383名) ・医療機器メーカーとのマッチング会(2回) (2) 製品開発支援 ・医療関連機器等事業化補助(4件、補助率2/3) ・医療機関/介護福祉施設のニーズ募集・発表 ・医療関連機器の現場目線による評価 ・医療・介護福祉従事者と企業研究者の交流促進 (3) 販路開拓支援 ・医療関連機器導入推進補助(29件、補助率1/2) ・医療関連展示会等出展支援(5件、補助率1/2) ・展示会共同出展/メディバレーおおいたの活用 (4) 海外ネットワークを活用した販路開拓 ・海外販路開拓支援プラットフォーム運営 ・大学と連携した海外展開支援	① 57,025 ③ ②	協議会会員企業・支援機関数 目標値 実績値 達成率	目標値 実績値 達成率		205	208	A
			主な活動指標と達成率 研究開発補助支援企業数 [社] 医療機器メーカーとのマッチング会の開催回数 [回]		目標値 3 実績値 4 達成率 133.3% 目標値 2 実績値 2 達成率 100.0%	達成率 104.9%	—		
	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 大分県医療ロボット・機器産業協議会の活動を通して、研究開発支援や医療機器メーカーとのマッチング会などを実施し、協議会会員企業への新規参入支援や支援機関との連携に取り組むことで、おおいた産医療関連機器の製品開発や販路開拓が進み、協議会会員企業・支援機関数も目標値を上回った。 今後も、新規参入から製品開発、販路開拓・海外展開支援等を一貫して行うことで、医療関連機器産業の振興を推進していく。								
	予算額 (うち翌年度繰越額) 58,022 (0) 決算額 (うち国庫支出金) 57,025 (22,310)								

主要な施策の成果（事務事業評価）令和5年度実績【施策コード：Ⅱ-2-(5)】

No.	事業名・事業概要・事業費	主 な 事 業 内 容	主な事業内容ごとの決算額			成果指標	達成度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	評価
7	エネルギー関連産業成長促進事業 （ H30 ～ ） 新産業振興室 市場の成長が期待されるエネルギー産業を育成するため、本県の強みを活かしたエネルギー関連の研究開発等を支援する。	①大分県エネルギー産業企業会の運営 ・水素関連産業の事業化支援やスマートコミュニティ形成等エコエネルギーに関するチャレンジを支援（3件） ・大分県版水素サプライチェーンの構築に向けて、水素の需要創出を目的に、日田彦山線BRTひこぼしライン燃料電池バス実証への県産水素供給や、水素の利活用セミナー・普及啓発イベントを実施 ・会員企業の展示会出展を支援（6社） ・新エネ・省エネコーディネーターによる各種相談・サポート（184件） ・太陽光発電と蓄電池を組み合わせた自家消費型エネルギー設備等の導入支援（128件）	①	1,061,842	③	事業化件数（研究開発金銭的成果件数、販路開拓成約件数） [件]	目標値	15	15	A	
			②		④		実績値	18	21		
				主 な 活 動 指 標 と 達 成 率			達成率	120.0%	140.0%	—	
				事業採択件数			目標値	4	事業の成果・社会情勢の影響を踏まえた取組・今後の方針 県内企業による水素関連産業の研究開発や、水素の利活用促進に係る実証や普及啓発イベントを実施し、メディアにも多く取り上げられたことで水素への理解促進が進む等の成果が得られた。また、県内企業の販路開拓のため展示会出展では、再エネ分野に加え、水素での出展も実施した。 今後も、「大分県版水素サプライチェーン」構築に向けた取組を加速させていくとともに、エコエネルギーを活用した地域活性化につながる取組を支援していく。		
				[件]			実績値	3			
			達成率			75.0%					
			展示会出展企業社数			目標値	3				
			[社]			実績値	6				
			達成率			200.0%					
予算額 (うち翌年度繰越額) 1,112,643 (0)		決算額 (うち繰越事業費) (うち国庫支出金) 1,061,842 (1,023,320)									